

2026 年 10 月 16 日

日本郵便株式会社

万国郵便連合（UPU）による郵便サービスの総合的評価において 日本（当社）が世界最高水準に認定されました！

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 小池 信也）は、UPU が加盟国の郵便サービスを総合的に評価した「2026 年・郵便業務発展指数」（2IPD: Integrated Index for Postal Development 2026）を発表し、下記のとおり、郵便発展レベル（PDL: Postal Development Level）の最高水準である「スコア 10」の認定を受けたことをお知らせします。

記

UPU では、2017 年から郵便事業の 4 つの評価項目に基づき、郵便事業体の発展度合いを評価する「郵便業務発展指数（2IPD）」※を公表しています。

日本（日本の郵便事業体である日本郵便株式会社）は、調査対象 約 180 か国の中から、10 段階の郵便発展レベル（PDL）のうち、最高水準である「スコア 10」の認定を、スイス、ドイツおよびフランスなどとともに受けました。2022 年 PDL 導入以降、5 年連続で世界最高水準の認定を受けています。

なお、国連の定めた「世界郵便の日」に当たる 2026 年 10 月 9 日（金）、UPU 本部にて開催された「世界郵便の日」式典において表彰式が行われ、駐スイス特命全権大使の飯島大使が出席して目時国際事務局長から表彰を受けました。

※ 「信頼性（Reliability）」、「到達性（Reach）」、「関連性（Relevance）」および「弾力性（Resilience）」の 4 つの評価項目に基づき、UPU が保有している郵便ビックデータ、公式郵便統計データなどの基本データを使用し、約 180 か国の郵便事業体の実績を比較しているもの。評価項目の詳細は次のとおり。

信頼性：郵便物の配達速度、安定性レベルの評価

到達性：郵便サービスの国際化のレベル（ネットワークのつながりの広さ・強さ）の評価

関連性：全ての主な市場における適合力のレベルの評価

弾力性：郵便事業が経済危機、社会情勢の変化、技術革新、環境問題など外部環境の変化に対応して、適応・回復し、安定的にサービス持続する能力の評価

今回の表彰で受けた高い評価を基礎として、郵便事業の更なる発展に向け、より一層真摯に取り組んでまいります。

【これまでの状況】

順位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	最高水準 スイス ドイツ オーストリア フランス 日本 中国	最高水準 スイス オーストリア ドイツ 日本 フランス	最高水準 ドイツ スイス 日本 米国 フランス オランダ オーストラリア	最高水準 スイス ドイツ 日本 オランダ オーストリア フランス オーストリア	最高水準 スイス ドイツ フランス 日本 オーストリア オーストラリア タイ
2	フランス	オランダ	オランダ	オーストリア	ドイツ					
3	日本	日本	ドイツ	ドイツ	オーストリア					
4	オランダ	ドイツ	日本	オランダ	日本					
5	ドイツ	フランス	フランス	日本	フランス					
6	英国	ポーランド	オーストリア	フランス	オランダ					
7	ポーランド	シンガポール	英国	米国	米国					
8	シンガポール	米国	米国	英国	英国					
9	中国	英国	カナダ	カナダ	カナダ					
10	オーストリア	オーストリア	ニュージーランド	シンガポール	シンガポール					

※ UPU は、2021 年までは単純に順位付けを公表し、上位国を表彰していたが、2022 年から、全体を 10 のランクに分け、最高ランクの 10 に位置する国を最高水準国グループとして表彰する形となっている。